

## 東アジア諸国首脳各位

# 戦争するな！どの国も 東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に

近年ASEAN諸国を中心に、米、中、ロ、韓、日など域外の主要国18カ国が集まり、東アジア首脳会議を開催し、各国の主権、平等、領土保全、内政不干涉、武力による威嚇、あるいは武力不行使、意見の相違や紛争の平和的解決、互恵的な協力などを確認したことを、私たちは心から歓迎しています。

一方で、東アジアにおいて意見の先鋭的な対立、紛争や武力衝突が散発しています。そして、こうした国家間の対立と緊張が大規模な武力衝突に発展するのではないかと危惧する見方もあります。

しかしながら、東アジア地域の人々は、いま何よりも経済・社会の発展と安定を必要としています。また、貧困、格差、差別、教育、感染症、環境問題など取り組むべき課題が山積しています。近年目覚ましい経済発展を遂げた東アジアの国々は、貿易面でも、相互依存、相互補完がかつてなく強く存在しています。こうした地域の現状は、国民の立場からすれば、緊張関係の長期存続や、武力衝突あるいは戦争を許すものではありません。

また、地域には、複数の国が核兵器を保有しており、核の脅威が存在しています。地域の真の平和と共同体の構築のためには、核兵器禁止条約に向かって、速やかに交渉を開始する必要があります。

私たちは、東アジアに、「不戦、平和、協力、繁栄の共同体」をつくることをめざしています。そうした目的から、当面、東アジア諸国の首脳各位に次のことを要請します。

### 要請事項

1. 関係国の共通の課題であり、即座に協力・援助が可能な、自然災害、感染症予防、環境問題などで具体的に協力を進め、関係国の相互信頼を醸成し、発展させ、話合いの条件をつくること。
2. 信頼醸成を一層進め、話し合いで、紛争や武力衝突を戦争に発展させないための具体的に詳細な規範（ルール）を作成すること。
3. 話合いによる紛争の解決、武力衝突回避に止まらず、内政不干涉、武力による威嚇あるいは武力不行使などを規定している東南アジア友好協力条約（TAC）型の「東アジア友好・協力条約」の制定をめざすこと。

氏 名	住 所

**【取扱い団体】 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会**

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33宮庭ビル4階

☎03-5363-3470 FAX03-3357-6255